

## 英語

## 【解答】

|     |     |     |     |     |      |
|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| I   | 問 1 | 問 2 | 問 3 | 問 4 | 問 5  |
|     | d   | c   | a   | b   | b    |
| II  | 問 1 | 問 2 | 問 3 | 問 4 | 問 5  |
|     | b   | a   | c   | c   | c    |
| III | 問 1 | 問 2 | 問 3 | 問 4 | 問 5  |
|     | d   | a   | b   | b   | c    |
| IV  | 問 1 | 問 2 | 問 3 | 問 4 | 問 5  |
|     | d   | b   | c   | c   | a    |
| V   | 問 1 | 問 2 | 問 3 | 問 4 | 問 5  |
|     | d   | a   | b   | c   | c    |
|     | 問 6 | 問 7 | 問 8 | 問 9 | 問 10 |
|     | a   | d   | c   | a   | d    |
| VI  | 問 1 | 問 2 | 問 3 | 問 4 | 問 5  |
|     | a   | a   | c   | b   | d    |

## 【学習アドバイス】

2026年度の入試問題も2025年度同様、Ⅰ. 会話問題、Ⅱ. 文脈判断による適語補充問題、Ⅲ.・Ⅳ. 長文読解問題、Ⅴ. 文法・語法問題、Ⅵ. 整序英作文の大問6題構成であった。全問マークシート形式の選択問題で、提示された科目の中から2科目を選択し100分で解答する形式である。したがって解答時間の目安は50分程度となり、この時間を考慮に入れても、受験生が無理なく解答できる難易度と問題数で構成されている。高等学校で履修すべき範囲を逸脱しているような語彙知識や解釈は見られず、概ね難易度は大学入試標準レベルである。よって、高校で学ぶべき単語・熟語、文法・語法並びに読解演習が大切であり、学校の課題や問題集の丁寧な取り組みと都度の復習を習慣化しておくことが最も有効となる。それでは、各大問の特徴を踏まえて対策を考えていこう。

- I. 会話問題では、高等学校の教科書や副教材で学習するような基本的な口語表現や会話独特の文脈判断に基づき、二者間の意思疎通を完成させる問題が設けられている。問われている表現・形式に呼応する返答を選ぶことはもちろんだが、因果の流れを意識して、最も妥当な会話の流れを作るための表現を選ぶように努めると良い。混乱することが多い場合には、発言の要点をメモして流れを確認しよう。
- II. 適語補充問題は、1～2文で構成された2行以上の文章内に設けられた空所に入れるべき適切な語を選択する形式である。文章全体の解釈を要求している設問が主であり、空所前後の局所的な解釈では正解が定まらないものもあるため、基礎～入試標準レベルの単語や表現の習得と、同レベルの英文解釈演習は必須である。余裕があれば、単語や熟語を覚えるときに、似たような表現の違いを英英辞典などで確認するとさらに良い。
- Ⅲ.・Ⅳ. 長文読解問題は、概ね入試標準レベルの表現を用いたやや短めの文章が題材として選ばれている。また、概要を示す題名が付されているので、文章の内容を推測する手助けになる。設問では、指示内容指摘問題、適語句補充問題、同意表現指摘問題、文挿入問題、内容理解問題、内容一致・不一致選択問題などが出題されており、難度の高い語には語注が付されている。いずれの文章も時事的なテーマを扱っているので、日ごろから社会の話題となっている事柄を把握しておくことと読解の助けとなる。指示内容指摘問題や同意表現指摘問題は、指示語や言い換えのものと表現を念頭に置いて文章を読み進めることで十分な対策となる。適語句補充問題は、語句知識の習得と併せて、同意語句・反意語句・派生語などをチェックすることを習慣化しておこう。文挿入問題は、ここまでのアドバイスを総合して解答するものなので、前述のことをある程度身につけてから演習に入ると効果的だ。内容一致・不一致問題で正答率にぶれが生じる場合は、読みながらメモを取るなど、英語読解訓練以外の対策も講じておこう。
- V. 文法・語法問題は、高等学校の授業や教科書、副教材学習内容で対処できる設問がほとんどであるため、いわゆる学校の勉強をきちんと身につけておくことが必須である。ただし、前置詞のニュアンスや慣用表現の使い方など、教科書付属の参考書の隅に記載されているようなことも問われているので、手持ちの教科書の隅から隅まで目を通して理解するように努めておこう。
- Ⅵ. 整序英作文問題は、完成させた英文の意味が日本語で書かれているため、並べ替えるべき語の意味も使いながら解答できるので、答えるべき英文を完成させやすい。ここでも学校の勉強と演習を大切にしつつ取り組んできた成果が出るが、語に与えられた番号だけをメモして並べ替えをすることで誤ってしまう可能性が高くなるので、完成すべき英語の表現を必ず書き出してから番号を付与し、これらのメモに基づいて選択肢を選ぼう。

最も有効な対策は、日々の学習や与えられた課題に真摯に向き合い、その時々できちんと習得し、折に触れて復習するという、学習の王道を徹底することである。難しい問題集よりも、英語の勉強を始めた頃の内容からしっかりと振り返りつつ、日々の学習を丁寧に行っていくことを習慣化しよう。